

光照院たより

発行：(宗)光照院
発行日：平成29年5月12日
台東区清川1-8-11
TEL. 03-3872-8487
FAX. 03-3875-5485

「こども極楽堂」プロジェクト始動

光照院住職 吉水裕光

副住職 吉水岳彦

リンちゃん事件

今年3月末、松戸市でリンちゃんという9歳の女の子が、さらわれて殺められるという事件が起きました。

光照院を拠点とする生活困窮者支援団体ひとさじの会は、ホームレス状態の方々への炊き出し夜回り活動で、在日ベトナム仏教信者会の人々と交流がありました。そのご縁から、4月末には光照院にて在日ベトナム人と日本人が一緒になってお念佛会を行い、リンちゃんのご供養を営みました。

どれほど怖かったことでしょうか。どれほど辛かったことでしょうか。は

かり知れない苦痛のうち、に最期を迎えたリンちゃんの心を想い、みな涙しながらお念佛を申し、速く如來さまの救いの御手に抱かれ往くことを祈りました。

安心できる居場所

この事件以後、子どもを持つ親の間では、見守りを行う大人もまた信頼ならない存在であると、疑心暗鬼になってしまったり、子どもたちの登下校班の必要性が語られるなど、さまざま意見がでていいるそうです。

親御さんが、わが子が事件に巻き込まれないように、常に守れるのは親だけであると思うよ

うになるのは、子を愛する親であれば当然のことでしょう。できることなら、ずっと自分の目の届くところに居させたいと願うのも大切な親心だと思います。

しかし一方で、子どもを育てる周囲の人が、み

な信頼できない人たちになってしまつと、親は四六時中子どもをそばを離れられなくなつてしまいます。これを実際に行うことは、仕事をしていいる親御さんには極めて難しく、子どもにとつても、少し窮屈なことかもしれない。

現実的には、やはり、信頼のおける誰かに子どもと一緒に見てもらう必要はあるのです。本来は、子どもたちにとつ



光照院のこども地藏尊

て安心できる居場所や、もしもの時には、駆け込めるところがたくさんあることの方が、子どもにとつても親御さんにとつても望ましい形なのではないでしょうか。

大人のロールモデル

さらに、核家族化が進んだ現代の子どもたちは、大家族だった時代の子どもたちと比べて、いろんな大人の姿を見る機会が減っています。

最近では、自分の親と学校の先生以外の大人と話してはいけないと教えられている子どもも少なくないとも聞きます。しかしこれでは、子どもが成長する際に手本とすべき大人のモデルが少なくなり、子どもが思い描く将来の大人像を貧しいものにしてしまう可能性もあります。子どもが正しく価値

判断を行う上で、比較対象となる親以外の大人は不可欠です。そんな時にロールモデルとなる多くの大人と出会うことが大切なのです。

そんなモデルとなる大人は、決して年配の間ばかりではありません。年齢の近い大学生のお兄さんやお姉さんも大事なモデルになります。家庭や学校以外に、子どもが大人たちと安心して交流できる場所も、子どもの成長の為に必要ではないでしょうか。

こども極楽堂の建立

光照院では、戦後すぐから先代住職によって「明照こぼと子ども会」の活動が行われました。子ども会は多くの子どもの居場所となり、大人や大学生たちと子どもたちが触れ合い、学び合う場所になっていまし

た。

残念ながら、地域の子どもの減少などによって、30年ほど前に活動は休止となりましたが、昨今、教育の格差が広がり、地域の人間関係も希薄化するなかで、再びどんな家庭の子どもたちも安心して集まることのできる場所が求められるようになりました。

そのような折、地域の子育て支援団体から子どもの無償学習支援の場所を提供してほしいという相談が光照院に寄せられました。

また、それと前後して光照院檀信徒の見目家からお寺の裏の建物をご寄進賜るお話を頂戴しました。

住職も副住職もこれは佛縁に違いないと感じ、寄進された建物を耐震改修して、再び子どもの居場所をつくることを決意しました。

学びと修養の場にも

この建物「こども極楽堂」では、無償学習支援「こぼと」と、子ども食堂の機能を備えることを計画しています。また、佛教的情操教育を行うことも考え、念佛道場にもなるように設計しています。工事は平成29年6月から開始し、完成は9月を予定しています。

こども極楽堂は、塾に通うことのできない子や学校や家庭に居場所のない子どもたちの憩いの場となることが期待されています。また、大人と子どもの双方にとつて、厳しい社会を生き抜く智慧と慈悲を学ぶ修養の道場にもなります。

如来さまの慈光のもと、国籍も、人種も、お金の有無も関係なく、子どもたちが、安心して遊

び、学び、ただ居られる場所を設けたいと思います。

光照院檀信徒のみならずには、新たなプロジェクトの始動につきまエクトの始動につきまして、ご理解とご協力を賜れば幸甚です。合掌

こども極楽堂募金

前記のように、こども極楽堂プロジェクトは始動したのですが、昨年行った耐震診断の結果、台東区から減築を余儀なくされるなど、改修工事には予想以上の費用がかかることになりました。

基本的には住職や副住職、その他支援者からの寄付金を以て行うつもりですが、光照院に縁のあるみなさまにもご協力を賜りたく、光照院檀信徒総代や世話人のみなさまに相談の上、建立基金を募らせていた

※もちろん募金ですの
で、お寺にお越しの際に
直接お渡しいただくこ
ともできます。

〈口座番号〉
1491176
631
〈店番号〉
宗教法人光照院
住職 吉水裕光

〈振込先名〉
普通
〈種別〉
千束町支店
〈支店名〉
みずほ銀行
〈銀行名〉

◆募金振込先口座
いただくことにはいたしまし
た。募金ですので、定ま
った金額があるわけで
はございませんが、多く
のみなさまのお気持ち
を頂戴できれば幸甚で
す。何卒よろしくお願
い申し上げます。
以下、募金の振込先と
なる口座を記載させて
いただきます。



リンちゃんの位牌と遺影を抱くベトナムの法友と共に

ひとさじの会活動

副住職が代表をつと
める社会的に弱い立場
の方々を支縁する「ひと
さじの会」の活動は、毎
月第一・第三月曜日十五
時から光照院にて行わ

れています。もしご興味
がございましたら、どう
ぞ遠慮なくお越しくだ
さいませ。一緒におむす
びを作って、良いご縁を
結びましょう。

貧困・震災支援御礼

日頃より、光照院や副
住職の行う震災や生活
困窮者の支縁にご理解
とご協力をいただき、誠
にありがとうございます。
昨年のお十夜以降も、
多くの檀信徒のみなさ
まから多大なご寄付を
賜りました。この場をお
借りして、心より感謝申
し上げます。誠にありが
とうございました。

今後も光照院では、出
来得る限り人と人との
縁を支える「支縁」活動
を展開してまいる所存
です。みなさま、ご理解
とご協力のほど、何卒よ
ろしくお願ひ申し上げ
ます。 合掌

光照念佛会のご案内

光照院では、毎月お念
佛とお写経を行う会を
行っております。開催日
は、基本的には毎月第三

土曜日の十五時から二
時間を予定しています。
みなさまのお越しをお
待ちしております。

〈念佛会の流れ〉
十五時 茶話会
十五時半 法話
十六時 写経
十六時半 念佛回向
十七時半 終了

お施餓鬼会のご案内

《日程》

六月十一日(日)

《御斎(昼食)》

十一時三十分から

《法話》

十二時十五分から

《法要》

十三時十五分

※法要の出欠と塔婆
の申込、ご参詣の
人数を同封のハガ
キにて必ずお知ら
せください。

光照院行事予定

《月例行事》

・第三土曜日

光照念佛会

・第一第三月曜日

ひとさじの会

《年中行事等》

平成二十九年

・六月十一日(日)

大施餓鬼会法要

・七月十日～十五日

お盆(新暦)

・八月十二～十六日

お盆(旧暦)

・九月二十～二十六日

秋彼岸

・十月二十九日(日)

十夜・放生会法要

※これはあくまでも予定です。何らかの理由で変更することもあります。ご了承ください。

光照院へのアクセス

台東区循環バス「北めぐりん」「浅草駅」から乗車し、光照院そばの九番「清川一丁目」停留所で降車ください。また、「甲42南千住車庫ゆき」バスご利用の場合は、「浅草松屋前」停留所から乗車し、「東浅草」停留所で降車ください。

お佛具料ご寄進

爲 春光院教恩篤道居士四十九日忌追善菩提
一金 参拾萬圓 施主 小番健志殿

編集後記

リンちゃんの四十九日忌法要にて念佛回向をさせていただきました。ご両親を前にして、語る言葉など何もありません。手の届かぬ世界に旅立ったリンちゃんが、速く苦しみから解き放たれることを祈って、ただ涙しながら一緒に念佛を申し、如来さまにおすがりする他ありませんでした。このような痛ましい事件を二度と起こさせぬためにも、子どもの安心できる環境づくりのお手伝いをようと心に誓いました。

(副)



てらねこ沙羅の一句

ねえ、呼んだ？

あたしも

子どもは大好きよ

なでさせるから

お魚ちよーだい！

てらねこ 沙羅拝

(今年で十八歳になったにゃ〜)

